



小金井 2013.9/1 No.425 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！ 起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！ 僕・私！
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

成人学校 植物観察

「富士五合目」を歩いて

報告 貫井南分館

この講座は、昭和50年代の移動青空公民館「市民ハイキング」として始まった講座の系譜を引き継ぎ、貫井南分館の中でも歴史ある講座です。

今回は、世界文化遺産登録直後であり、混雑が予想された講座であったが、高山植物の観察を受講者20人で初夏に行いました。



森林限界付近

富士山の五合目は、標高2千300メートル、植物が育つ限界のところ。五合目からは、山頂まで樹木はない状態です。

五合目とはいえ天候が変わり易く、気温が低いと感じる中、講師の説明を受けながら、約2時間の散策コースを歩きながらの観察となりました。



小さな植物がたくさんある中、ひと際目を引いたのはハクサンシャクナゲという白色の花の群生でした。丁度満開を迎えたときで、受講者は思い思いにカメラに収めていました。



ハクサンシャクナゲ

夏の暑さをしばし忘れて山の植物を楽しんだ講座となりました。

受講者からは、初めて見る植物が10種類以上あり、森林限界付近での良い観察会でした。

学習と運動を兼ねて、とても有意義な一日でした。割合、色々なタイミングが良かった。

富士登山の観光客が多かった割には、スムーズに進行し、先生が受講者に見せたかった植物は、最後の方で見えた等、感想が寄せられました。



公民館運営審議会の答申書

平成24年9月21日付けで諮問をさせていただいておりましたが、(仮称)貫井北町地域センターの運営等について、7月26日に答申をいただきました。

公民館の歴史と現状を踏まえて、新センターに期待される機能を明らかにしていただきました。

また、運営に関しては、「市民協働」、「公民連携」による公民館運営のメリットとデメリットについて深く検討していただきました。

それをふまえて、市の責任で適切な運営形態を決定することが提言されています。

また、運営形態の決定にあたっては、次のような条件が確保されることが望ましいことが提言されています。

- (1) センター運営における専門性が確保されること。
- (2) 市民協働、公民連携の基本理念を踏まえた運営がなされること。
- (3) 市民サービスの向上を図ること。
- (4) 小金井市の公民館事業の成果が伝承されること。
- (5) 十分な運営能力を持った主体が長期的に確保されること。

これを受けて、市及び市教育委員会として、市民協働で新たなNPOを立ち上げて事業の運営を担っていただくことに決定しました。

平成26年4月の開館に向けて、忙しい日程とは思われますが、ぜひ皆様の積極的な参加をお願いします。

募集

成人大学講座 「日常生活に関わる工学」

緑分館

工学の視点から私たちの日々の暮らしにまつわる様々な事柄について、学び理解を深めていく。

これからの私たちの生活がどのように変化していくのかを学び想像してみましょう。

とき・内容 右表のとおり

いずれも土曜日午前10時～正午

ところ 東京農工大学 新一号館
グリーンホール

講師 東京農工大学教員

対象 市内在住・在勤・在学の高校生以上の方

定員 70人（申込順）

申込 9月20日（金）まで電話、または直接公民館緑分館（☎042-387-7301）へ。

日程	講習テーマ	講師
9/21	無限に増える細胞、がん細胞の研究	稲田 全視さん (生命機能科学部門准教授)
9/28	立体表示の基礎と将来	高木 康博さん (先端電気電子部門教授)
10/5	電気エネルギーをスマートに使う！ ～電池の科学と基礎と応用～	齋藤 守弘さん (応用科学部門准教授)
10/12	デジタルヒューマンの世界へようこそ ～最新のCG技術の新たな展開について～	北嶋 克寛さん (先端情報科学部門教授)
10/19	地下水の流れと放射性物質	細見 正明さん (応用化学部門教授)

募集

成人学校 「野川を歩く～源流から多摩川合流点まで」東分館

国分寺市に源流を発し、6市区を流れる野川の流路に沿って約21キロの道のりを一日で歩きます。

下流に向かうにつれて変わりゆく野川の魅力を堪能しながらウォーキングの知識と技術を学びます。

説明会 10月19日（土）午前10時～正午

本実施 10月26日（土）午前8時～午後2時頃
必ず両日ともご参加ください。（説明会は東分館で行います。実施日のみの参加はできません。）

内容 西国分寺駅に集合し、野川源流から野川沿いを多摩川への合流点（二子玉川）まで通って歩きます。歩行距離は約21キロです。

講師 横山一夫さん（ウォーキング協会指導者）
大井弘俊さん（ウォーキング協会指導者）

対象 市内在住・在勤・在学で約21キロを通して歩ける方

定員 20人（多数の時は抽選）

参加費 無料（交通費等は実費負担）

その他 ○弁当・飲み物・敷物・雨具・健康保険証・着替え等を持参してください。○帰途は二子玉川駅（東急田園都市線）から各自お帰りいただきます。○小学生は保護者同伴でお願いします。○途中、約11キロ地点（京王線柴崎駅）、約15キロ地点（小田急線喜多見駅）の2か所で離脱できます。

申込 9月24日（必着）までに、往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、公民館東分館「野川を歩く係」（〒184-0011 東町1-39-1）へ。

募集

市民講座 「サムライたちスペインへ渡る～スペインと日本交流400年～」本町分館

日本が欧州と初めて公式に交渉を持った慶長遣欧使節について学びませんか。

とき 9月19日（木）午前10時～正午

ところ 公民館本町分館

講師 田辺光宏さん（元NHKチーフアナウンサー）

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人（申込順）

参加費 無料

申込 9月2日から電話、または直接公民館本町分館（☎042-383-1170）へ。

月刊こうみんかん 8月号 2面訂正のお詫び
貫井南分館主催講座募集記事「そうなんだ!? 日本の伝統芸能」において宛先表記に誤りがありました。
正しくは（☎042-383-1168）となります。
大変ご迷惑をおかけしました。

募集

市民講座 「時代考証の世界～時代劇を十倍楽しむ」東分館

NHK大河ドラマなど人気時代劇を担当する時代考証の第一人者による解説を通して、時代考証を理解し、人気時代劇をより一層楽しむことを目的として本講座を開設します。

とき・内容 下表のとおり、いずれも水曜日午後7時～9時

ところ 公民館東分館

講師 大石 学さん（東京学芸大学教授）

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 40人（申込順）

参加費 無料

申込 9月2日から住所、氏名、年齢、電話番号を電話・電子メールまたは直接公民館東分館へ。

（☎042-384-4422 ☒k020413@koganei-shi.jp）

	日程	解説作品
1	10/2	『八重の桜』1
2	10/9	『八重の桜』2
3	10/16	『篤姫』
4	10/23	『新撰組』『龍馬伝』
5	10/30	『大奥』『薄桜記』

スポーツ祭東京2013

小金井公園で弓道・バスケを観戦しよう

弓道 9月29日(日)～10月2日(水)

東京都立小金井公園弓道場

バスケットボール 10月4日(金)～6日(日)

小金井市総合体育館

小金井市での競技は、弓道とバスケットボールです。スポーツでの和と洋を味わえるのが、小金井市での特徴と言えるでしょう。

そこで、それぞれの競技の見どころをご紹介します。

【弓道】

国体では、どちらの競技も監督1人、選手3人がチームを組み団体戦で勝負します。

「弓道」の見どころは、何といってもその「美しさ」を観ることにあります。射場(道場)への入場、射位での所作等、選手の表情や態度、姿勢や行動をじっくり観察して、心の動きを見てみると、一層楽しむことができます。

弓道競技には、「近的競技」と「遠的競技」の2つの競技があります。

近的競技

距離が28m先にある直径36cmの的にねらいを定めて矢を放ちます。当たった否かを競う「的中制」の競技です。

遠的競技

60m先にある直径1mの的は、黄、赤、青、黒、白の5色に塗られています。

的の中心に近いほど高い得点が得られる「得点制」の競技です。



【弓道競技日程】

種別	種目	9/29(日)	9/30(月)	10/1(火)	10/2(水)
成年男子	近的		予選1・2回		【決勝】
	遠的	予選1・2回		【決勝】	
成年女子	近的		予選1・2回		【決勝】
	遠的	予選1・2回		【決勝】	
少年男子	近的	予選1・2回		【決勝】	
	遠的		予選1・2回/決勝		
少年少女	近的	予選1・2回		【決勝】	
	遠的		予選1・2回/決勝		

青少年のための科学の祭典

東京大会 in 小金井

今年の「青少年のための科学の祭典」は9月8日(日)10時～16時30分東京学芸大学で開催されます。社会教育委員の会議のテーマは、「くるくる回転して色が変わる不思議なテトラを作る」。図書館協議会委員のテーマは、「ささえあう、ことばの力～子どもも大人も楽しめる本の紹介」。

小金井市 炬火採火式

8月3日(土)、東京都立小金井公園内にある小金井市体育館にて炬火採火式が行われました。



【バスケットボール】

1チーム5人の選手がパスやドリブルしながらボールを進め、相手のバスケットゴールにシュートして、得点を競います。

ゴールの得点は、スリーポイントラインの外側からのシュートが3点、内側からのシュートは2点、フリースローが1点となります。

1ピリオド(10分)を4回繰り返し、40分で行います。

男子ではワンハンドシュート(片手)、女子では選手のほとんどが両手でのシュートとなります。女子は両手でシュートする分、3ポイントシュートが多く見られるかもしれません。

バスケットボールは、「ゴール下を制する者はバスケットを制する」と言われることがありますが、ゴール下でのリバウンド(ゴールに入らなかったボール)をめぐる攻防が見ものになると思います。

チームによって、走るバスケ、巧みなパスワークでゴールを狙うバスケ等、戦法が違います。



【バスケットボール競技日程】

10/4(金)	10/5(土)	10/6(日)
成年男子1回戦	成年男子準々決勝	成年男子決勝
	成年女子2回戦	成年女子3回/準々決勝



そして、公民館運営審議会のテーマは、

「昔遊びの科学」です。

昔をしのびたい方、懐かしい遊びを教えたい方……

ブースはS棟の一階です。

是非足をお運びください。



◆ 9月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp
ITサポートは、各館にて毎週水曜日、日曜日の午後1時から午後3時。

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館
中町 4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町 2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300
	☆市民講座 「サムライたちスペインへ渡る～スペインと日本交流400年」 市報 9月1日号に詳細		☆市民講座 「時代考証の世界～時代劇を十倍楽しむ」 市報 9月1日号に詳細 ☆成人学校 「野川を歩く～源流から多摩川合流点まで」 市報 9月15日号に詳細	☆成人大学講座 「日常生活に関わる工学」 市報 9月1日号に詳細

第1回「小金井市日本語スピーチコンテスト」開催

市制施行55周年の記念事業として、第1回日本語スピーチコンテストが小金井市民交流センターで行なわれました。

参加者は小金井市内の国際交流団体で日本語を勉強している外国出身の方々、7名でした。

参加していた公民館貫井南分館を拠点に活動している「小金井国際交流サロン」主催の安部まり子さんにお話を聞きました

Q「小金井国際交流サロン」はどんな団体ですか？

小金井市内外の外国の方々積極的に交流を図り、国際親善につとめているボランティア団体です。2003年に「ティーサロンぬくい」として貫井南分館で活動を始め、現在は名前を改め「小金井国際交流サロン」となりました。

Qどんな活動をしていますか？

ただ日本語を学ぶ教室というだけではなく、ふと立ち寄りお茶を飲みながら話したり、悩み事を一緒に考える事ができるアットホームで安心できる場所づくりを考えています。

現在では、ボランティア・地域の公共機関等と連携し、地域住民と外国の方との相互理解を深めながら、外国の方が地域で活躍できるような環境作りに努めています。

親子連れで参加する方もみえ、学校での日本語による授業が困難な子どもたちへの支援にも対応しています。

Q今回のスピーチコンテストはどうでしたか？

国際交流サロンからはコンテスト前に出産したばかりのママさんと国際結婚で日本に来たネパール人のデビさん(前列向かって左端)の2人がスピーチに参加しました。

日本へ来てから体験したこと、将来の夢、出身国の文化など、多彩なお話を聞くことができました。

大変盛況を迎えることができ、来年にも第2回スピーチコンテストを行うことを計画しています。



平成25年7月13日(土)
小金井市民交流ギャラリーで開催

こがねい旬菜 ～見て・ふれて・食べて～ 緑分館

「ジェ、ジェ、ジェ！ 旨い！」
自らが作りし、「旬菜」に満足感を覚え、頬が緩む。
本旬菜はトマト、キュウリ、春菊、ジャガイモ等々を指す。
数年前から市のレンタル農園(5坪ほど)を借り受け、野菜を育てている。土いじりが好きなこともあるが、「ボケ防止」と健康管理を念頭のチャレンジでもある。

思い起こすと、幼少時代の'50年代の北多摩郡小金井町の近郊農家では主にトマト、キュウリ、茄子、スイカ、瓜等の野菜類が植えられていた。

夏、地元採れたてのスイカを井戸につるし、また「真っ黄色」のまくわ瓜を冷やしてかじったあの“味”は今でも忘れられない！

しかし、時代が流れ我が町はベッドタウン化したことや、流通業の発達により、各地から鮮度の高い野菜類が運べることで、畑の作付け面積が減ってしまった。

さて自慢の我が畑の話に戻そう。

ここで良い作品(野菜)を作る術を自慢げに紹介する。

- その1. 土づくり：良く耕し、有機肥料を念頭に堆肥を
 - その2. 苗の選択：トマト、キュウリなどは接ぎ木苗を
 - その3. こまめな手入れ：害虫、雑草の除去に努める
 - その4. 愛情：相手は「口答え」せず、愛を十分に注ぐ
- 最後に一句。

「みのりばた(農畑) ころろ込めして 播く苗に
実るよろこび 有難きかな」

これ「駄作」に至りご免！ (市民Yさん)



編集後記

釣りファンのみなさん、今年の釣果はどうですか？
鮎の友釣りシーズンは、全国的にほぼ6月から9月末です。(東北地方はひと月遅れ) さあ今年もあと残りひと月です。

釣り師の叶わぬ夢は、ひとシーズンの釣果が1000匹だと言われています。さて、ここで釣り用語をひとつ、個人のブログなどで「ツ抜け」という言葉をたまに見かけますが、数えるときに、ひとつ、ふたつ、みつつ…と言います。つが抜けることは、10以上を意味することだそうです。ですから、今日の釣果は、“ツ抜けだった”ということは10匹以上ということです。(P)